


10月
芋ほり体験 編

16日に親子芋ほり体験を行いました。子どもたちには『土の感触を楽しみながら収穫を喜んでほしい。友達や保護者と一緒に芋ほりを楽しんでほしい』保護者の方には『お子さんと一緒に芋ほりを楽しんでほしい』という願いをもって臨みました。はじめは苦戦した芋ほりでしたが徐々に経験を活かして楽しく行うことができました。また、掘れたたくさんのお芋に喜び爆発の子どもたちでした。



「いものまわりのつちをほるといいよ」「つちがかたくとれないよ」「おいもをぐらぐらってゆらすといいよ」経験を活かしながら年長児が行う様子を見てまねる姿がありました。

【自立心・思考力の芽生え】

「なかなかほれないよ。てつだって」友達と協力してお芋を掘ります。

【協同性】

「つるほどこまでつながっているのかな？」

【自然とのかかわり 生命尊重】



「うんとこしょ」「なかなかおいもででこないね。おいもさんつちのなかでなにをしているのかな?」「トレーニングしてるんだよ」「つなひきするためだよ」「どっちがつよいかな…」等と言葉を交わしながら楽しくつるを引っ張ります。

【豊かな感性と表現・言葉による伝え合い】

「やったー！こんなにおおきなおいもがほれた。おもたいよ」「みてみて、わたしのおいも」「うわーおおきいね。わたしのものすごいでしょ…」みんなお芋掘りががんばりました。お家の方もここに大満足。頑張ったからこそ味わうことができました。

【自立心・道徳性 規範意識の芽生え】

「みんなではこぼう。よいしょ。よいしょ。でもすごくおもたいな」年長児が中心となって畑から園舎までお芋を運びました。

【協同性・社会生活とのかかわり】



保護者の皆様ありがとうございました。お疲れさまでした。